

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2014年11月24日

野菜よもやま話

そらまめの定植

内陸の香取市では霜が降りて、早朝、野菜の葉が白くなる日が増えてきました。九十九里海岸に近い地域では、まだそれほどではありませんが、確実に冬の寒さが忍び寄ってきます。そんな中、そらまめの定植を行ったと聞き畑に行ってみました。

畑には本葉が5～6枚、20 cmほどの高さに育ったそらまめの苗が植えられていました。畑には地温を上げるためのマルチを敷き、これからもっと寒くなると、トンネルという覆いもかけます。

そらまめの種まきは他の種まきとちょっと違い、種をすべて埋めてしまわずに、半分ほど地表に出しておきます。土から豆が飛び出しているような様子は「これでいいのか？」と思いますが、発芽をそろえるために必要な工夫だそうです。旭市の宇井修司さんは「今年は発芽が良かったよ。」と言うので、「じゃあ、豊作ですかね。」と安易に答え、「いやいや、これから寒さの影響や、樹が育っても花が落ちて実にならない事もあるから、まだまだ。」と笑われてしまいました。

寒い冬をじっと耐えて、5月下旬に収穫を向かえるまで、種まきから7ヶ月かかります。はやくも美味しいそらまめが待ち遠しい気持ちになりました。(B)

右) そらまめを定植してる、
横芝光町の越川悦之さん。

「植えてすぐはしおれていても、一雨降ると、根が張って元気になるよ。」

